

木の祭り

新美南吉

青空文庫

木に白い美しい花がいっぱい咲きました。木は自分のすがたがこんなに美しくなったので、うれしくてたまりません。けれどだれひとり、「美しいなあ」とほめてくれるものがないのでつまらないと思いました。木はめったに人のとおらない緑の野原のまんなかにはつんと立っていたのであります。

やわらかな風が木のすぐそばをとおって流れていきました。その風に木の花のにおいがふんわりのおつていきました。においは小川をわたつて麦畑をこえて、崖がけつぷちをすべりおつて流れていきました。そしてとうとうちようちようがたくさんいるじやがいも畑まで、流れてきました。

「おや」とじやがいもの葉の上にとまっていた一ぴきのちようが鼻はなをうごかしていいました。「なんてよいにおいでしよう、ああうっとりしてしまふ。」

「どこかで花がさいたのですね。」と、別の葉にとまっていたちようがいいました。「きつと原っぱのまんなかのあの木に花がさいたのですよ。」

それからつぎつぎと、じやがいも畑にいたちようちようは風にのつてきたころよいにおいに気がついて、「おや」「おや」「おや」といったのであります。

ちようちようは花のにおいがとてもすきでしたので、こんなによいにおいがしてくるのに、それをうっちゃっておくわけにはまいりません。そこでちようちようたちはみんなでそうだんをして、木のところへやっていくことにきめました。そして木のためにみんなでお祭りまつをしてあげようということになりました。

そこではねにもようのあるいちばん大きなちようちようを先にして、白いのや黄色いのや、かれた木の葉みたいなのや、小さな小さなしじみみたいなのや、いろいろなちようちようがにの流れてくる方へひらひらと飛んでいきました。崖がけつぷちをのぼって麦畑をこえて、小川をわたって飛んでいきました。

ところが中でいちばん小さかったしじみちようははねがあまりつよくなかったので、川のふちで休まなければなりません。しじみちようが小川のふちの水みづ草の葉にとまってやすんでいますと、となりの葉のうらにみたことのない虫が一ぴきうつらうつらしていることに気がつきました。

「あなたはだあれ。」としじみちようがききました。

「ほたるです。」とその虫は眼めをさまして答えました。

「原っぱのまんなかの木さんのところでお祭りまつがありますよ。あなたもいらっしやい。」

としじみちようがさそいました。ほたるが、

「でも、私は夜の虫だから、みんなが仲間にしてくれないでしょう。」といいました。しじみちようは、

「そんなことはありません。」といって、いろいろにすすめて、とうとうほたるをつれていきました。

なんて楽しいお祭りでしょう。ちようちようたちは木のまわりを大きなぼたん雪のようにとびまわって、つかれると白い花にとまり、おいしい蜜をお腹いっぱいごちそうになるのでありました。けれど光がうすくなって夕方になってしまいました。みんなは、

「もつと遊んでいたい。だけでもうじきまつ暗になるから。」とためいきをつきました。するとほたるは小川のふちへとんでいって、自分の仲間をどっさりつれてきました。一つ一つのほたるが一つ一つの花の中にとまりました。まるで小さいちようちんが木にいつぱいともされたようなぐあいでした。そこでちようちようたちはたいへんよろこんで夜おそくまで遊びました。

青空文庫情報

底本：「いんぎつね 新美南吉童話作品集1」てのり文庫、大日本図書

1988（昭和63）年7月8日第1刷発行

底本の親本：「校定 新美南吉全集第三巻」大日本図書

1980（昭和55）年7月31日初版第1刷発行

初出：「幼稚園と家庭 毎日のお話」育英書院

1936（昭和11）年11月15日

入力：めぐり

校正：鈴木厚司、もりみつじゅんじ

2003年9月29日作成

2012年5月8日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

木の祭り

新美南吉

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>